

文学部

文学部生の

リアルな！学生生活

vol.16



文学部生のリアルな学生生活の様子を掲載し、ご父母の皆さまに文学部生の充実したキャンパスライフの風景、また文学部ならではの取り組み等の情報を発信いたします。

5

「武術太極拳」を知っていますか？

いわゆる「カンフー」で、競技スポーツになつていくものです。私は母のすすめで武術太極拳を始め、現在も競技選手として活動しています。武術は中国の文化に根ざしたスポーツであるため、中国に関するさまざまな知識を持ち、中国への理解をさらに深めていきたいと考えて、この専攻を選びました。また、同じ専攻に武術の先輩が二人いるということで、安心して入学することができました。

中国言語文化専攻ならではの講義

私が所属する中国言語文化専攻では、幅広いジャンルのなかから自由に



武術太極拳を舞う筆者／写真提供：株式会社オリハウオリ写真事務所



武術太極拳の競技選手として活躍中

中国文化に根ざしたスポーツ
「武術太極拳」
 専攻での学びが、貴重な出会いを生む

こまつ もとし
小松 資

文学部人文社会学科中国言語文化専攻4年
 私立埼玉栄高校出身(埼玉県)出身

学ぶことができず、特色としては、語学(中国語)と中国の文化や歴史などを体系的に学べることです。1年次は、とにかく語学の基礎をつける！ということ、「中国語(Ⅰ)」「中国語学概論」といった講義をほぼ毎日受講していました。授業は少人数制のため、発音や漢字など、どの講義も先生が丁寧に指導してくださり、すぐ身につきました。

専攻での学びが、貴重な出会いを生む

以前、武術の日本代表としてジュニアの部(高校生まで)で大会に参加さ

せていただいたことがありました。国際大会では各国の交流が盛んであり、そういった場で外国の選手とコミュニケーションをとる際、中国の武術ということもあつて中国語を使うことが多いのですが、当時私は中国語を話すことも聞き取ることもまったくできず、各国の選手とほぼ交流ができませんでした。メダルをいただくことはできなかったのですが、ただ試合に出て帰ってきただけだと思い、悔しい思いを経験しました。「もっと貪欲にいききたい、自ら吸収していききたい」とそのとき強く感じました。

現在では、中国言語文化専攻での学

びが大いに生かされています。日本と中国の武術トップ選手が集う公演での交流、2017年夏には台北ユニバーシアード競技大会の代表に選出していたが、中国・北京での事前合宿や大会期間中では、専攻で得た知識をもつて接することで、たくさんのお会いが生まれました。それは人生において大きな変化をもたらす貴重なものだったと実感しています。武術をやっていたことによりこの専攻に出会い、この専攻で学ぶことでまた新たな出会いが生まれ、それにより縁の大切さを再確認し、中国言語文化専攻の学生であるという責任や感謝の思いが湧きあがりました。今後も自分なりの形で中国について知っていくこと、また武術をもつと知ってもらうためにも、意欲的に活動していきます。



能動的な
情報受信を

文学部事務室
井澤 菜々子
いざわ ななこ

時に、学生と接していると充実した話をしてくれる一方で、「もう少し早く知っていたら……」という言葉が聞かれます。今回はそんな情報の掴み方について、お話しさせていたただきたいと思います。

能動的な姿勢というのは、成長に大切な要素の一つだと感じています。それは日々の行動だけではなく、社会に溢れているさまざまな情報に対する姿勢にも通じることです。現代の社会は多種多様な情報で溢れています。なんとなく情報を受信していても、量が膨大なため処理が追いつかず、そのまま忘れてしまうこともあるのではないのでしょうか。自らが持っている成長へのチャンスを「知らなかった」だけで逃してしまふことは非常に残念です。そのためにも必要な情報、ほしい情報が自分

のもとに届くことを待つだけではなく、発信されている情報を掴みに行くという姿勢が大切です。

さて、大学からの情報発信ツールの一つにC Plusというポータルサイトがあります。C plusは履修登録や成績発表の場でもあることから、年度初めや終わりには利用するという学生も多いのではないかと思います。ただ、C plusでは年間を通して、授業や課外講座、新しいプログラムなど常にさまざまな情報が発信されています。たとえば「グローバル・スタディーズ」をはじめとする特色ある授業の案内や、検定試験にまつわる情報などが日々発信されています。時にはC plusを通じて卒業にかかわる重要な連絡がなされていることも……！ぜひ、日ごろからチェックしていただきたいツールの一つです。

ほかにも今や多くの情報発信ツールがあり、常に情報が溢れ続けます。せっかくだとどり着いた情報を無駄にしないためにも、ぜひ「能動的な情報受信」を心がけてみてください。



日本と中国の武術トップ選手が集う舞台「武術太極拳」(最後列右から5番目が筆者)



武術太極拳の演武／写真提供：株式会社オリハウオリ写真事務所



孫建明日本武術太極拳連盟ヘッドコーチ(中央)と日本代表選手たち